
戦争の一つの見方

赤47

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦争の一つの見方

【Nコード】

N4837B

【作者名】

赤47

【あらすじ】

戦争に対する意見を文にしました。小説ではないですね…

絶対の悪、20世紀を黒くした人類の汚点、人間を人間と捉えず物
としか思わない行為、国または民族の上に立つ男達のエゴ、戦争。
お互いの考えを受け入れずに、押し付ける為に起き、世界を無視し、
征服欲によって起こる、戦争。

戦争は大きな悲しみを生み出した。また、憎しみを生み出し、それ
が新たな戦争へと変わる。

この負のループの中で、人を殺すことの為に考えて考え抜いた軍人
がいて、人を殺す為ではなく、技術発展のために考えて考え抜いた
学者達がいた。しかしその技術は人殺しの為に考えた軍人に使われ
た。

この事に喜ぶ学者は恐らくいないだろう。自分が頑張ったのは戦争
の為ではないと嘆いただろう。

しかし今、戦争によって急激な発展を遂げた技術が役に立っている。
飛行機や原子力、通信技術…様々だ。

これらの技術で人の命を救うのに役立つというのはなんとも
皮肉だ。

だが、これからは戦争によって技術を発展させることはあつてはな
らない。

学者達の悲しみを繰り返してはならない。人類は平和の中で、戦争
で発展するよりも発展させることが出来る。みんながそう信じる事
で現実となる。

平和の中での発展の誓い、戦争で発展した技術によって起きた悲し

みと学者達の嘆きを知る事で、学者達の悲しみを拭うことが出来る
のではないだろうか。そして、戦争によって発展した技術を平和の
為に尽くすというのが、犠牲者達を弔う一つになるのではないだろ
うか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4837b/>

戦争の一つの見方

2011年1月27日00時10分発行